

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	耐衝撃性能の評価小委員会		主 査 名：橋英三郎 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 応用力学運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：高田毅士
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>重要構造物への飛来物による衝突・衝撃問題やガスや火薬などによる爆発時の挙動の解明を行い、耐衝突、耐衝撃、耐爆の性能評価に関するガイドラインを提案する。本小委員会設置申請時における各年度活動計画は以下の通り。</p> <p>2008年度：国の内外における関連規基準の整理。各種事例のシミュレーション等による検証。シンポジウム開催</p> <p>2009年度：耐衝突、耐衝撃、耐爆の性能評価ガイドライン作成（第1素案）、大会において PD の開催</p> <p>2010年度：第1素案の再検討、同（第2素案）の作成</p> <p>2011年度：第2素案の再検討、同（第3素案）の作成、シンポジウムの開催</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 無		
	<p>主査：橋英三郎（大阪大学）</p> <p>幹事：片山雅英（伊藤忠テクノソリューションズ）</p> <p>委員：野中泰二郎（京都大学名誉教授）、向井洋一（奈良女子大学）、櫛部淳道（竹中工務店）世戸憲治（北海学園大学名誉教授）、中山昭夫（福山大学）、西田明美（日本原子力研究開発機構）、加藤政利（構造安全研究所）、坪田張二（前橋工科大学）、中村尚弘（竹中工務店）、濱本卓司（東京都市大学）、河西良幸（前橋工科大学）、岡本達雄（竹中工務店）、山野辺宏治（清水建設）</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	耐衝撃・耐爆設計ガイドライン作成ワーキンググループ： 耐衝撃・耐爆設計ガイドラインの策定作業		
2010 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 構造物の耐衝撃設計ガイドラインに関するシンポジウム（土木学会と共催） 『同名資料』（182page） 参加者数 89 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「第 10 回構造物の衝撃問題に関するシンポジウム」を土木学会と共催した（12 月 9～10 日、九州大学、参加者 90 名）。 2. ガイドライン素案の作成に関しては WG（主査：濱本卓司）が中心となり頻りに会合を開き、ほぼ全体像はかたまりつつある。また、広く意見を聞くためシンポジウムを開催し、土木学会の「構造物の耐衝撃性能評価研究小委員会（委員長：園田佳巨・九大教授）」との相互協力体制を固めた。 達成度 80%
委員会活動の問題点・課題	